納入仕様書

住宅用火災警報器
(熱式、自動試験機能付)
KK-DH20-10

平成18年　　月　　日

マックス株式会社

1. 適用範囲

本仕様書は、下記の住宅用火災警報器(熱式、自動試験機能付)に適用します。

型 名	愛 称	備 考
KK－DH20－10	火無安全	電池寿命10年、自動試験機能付

2. 製品概要

本警報器は、熱感知部(サーミスタ)を内蔵し、火災の熱をキャッチし、警報音と警報灯にて、外部に警報を発する警報器です。火災により熱が発生し、警報器が作動したとき、本器は警報ブザーによる警報音「ピー、ピー、ピー」と警報灯の点灯で警報を発します。

3. 製品仕様

①基本仕様

種　　別	住宅用火災警報器
型　　名	KK－DH20－10
ＪＡＮ コード	4902870719715
ＩＴＦ コード	14902870719712
鑑定型式番号	鑑住第18～23号
感知方式	熱感知方式(定温式)
復旧方式	自己復旧方式
定　　格	DC3V，50mA
消費電流	監視時:4.6μA、警報時:33.9mA
電　　源	リチウム電池
音　　圧	1mにて70dB以上
外形寸法	φ98mm×44mm
使用温度範囲	0℃～40℃(結露しないこと)
警　報　灯	赤色LED
主　　材	ABS樹脂
質　　量	約120g(取付ベース、電池含む)
付　属　品	取付ベース:1個、 取付ネジ(呼び4×20mm):2本 リチウム電池:1本、 取扱説明書(保証書付)

②動作仕様

火災時の動作	警報器が作動したとき、警報音と警報灯で警報を発します。 警報音:ピー、ピー、ピー・・・ 警報灯:点灯			
警報音停止動作	警報器の火災警報は、以下の時に停止します。 ①警報器の周囲温度が規定レベルを下まわったとき。 ②警報器表面の警報停止ボタンを押したとき。 ※警報停止ボタンを押して、警報音を停止した場合、警報音の停止時間は約5分間です。約5分経過後に、警報器が熱を感知していた場合は、再度警報音が鳴動します。			
異常時動作	警報器が異常状態になったとき、異常警報音と警報灯でお知らせします。 ①電池電圧低下時 (警報音:ピ／1分 警報灯:ピカ／1 分) ②サーミスタ断線異常時 (警報音:ピピピ／1 分 警報灯:ピカピカピカ／1 分) ③サーミスタ劣化異常時 (警報音:ピピピ／1 分 警報灯:ピカピカピカ／1 分)			
点検時動作	本警報器は、火災警報時以外の時にテストボタンを押し試験をすることができます。テストボタンを押すと、“ピピ”となり、下表の動作をする。			
			警報音	赤色LED
	異常時	電池電圧低下	ピ	ピカ
		サーミスタ断線異常 サーミスタ劣化異常	ピピピ	ピカピカピカ
	正常時		ピーピーピー	点灯

4. 注意事項

(1) 本警報器は必ず定期的に点検を行ってください。点検を怠ると火災時に正常に機能しない恐れがあります。

(2) 非火災報が出た場合はその原因を確認してください。原因が不明な場合は、専門業者に点検を依頼してください。なお、次のような場合は非火災報の恐れがあります。

①ストーブやガスコンロの近くなど、高熱環境になる場所

(3) 次のような場所には取り付けないでください。

①暖房器具の近くなど、水蒸気が発生する場所

②空気の流れが激しい場所(換気扇や扇風機、エアコンの近く、すきま風の強い所)

③ほこりや虫の多い場所

④浴室など、水がかかる場所や、常時高温多湿な場所

⑤ガレージ、調理場などの火災でない熱、蒸気などがかかる場所

⑥吊り下げ式の照明やタンスの真上

(4) 設置上のご注意

①天井に取り付ける場合は、できるだけ部屋の中心かつ壁や角から水平距離40cm以上離して取り付けてください。

②天井面に取り付けることが困難な場合は、警報器の中央が天井面から15～50cm までの範囲の壁面に、警報停止ボタンが下になる方向に取り付けてください。